



No. **32**

発行者 沼津市商工会
 会長 松永公良
 〈本所・原支所〉沼津市原 1200番地の1
 TEL (055) 966-1331 FAX (055) 967-4925
 〈戸田支所〉沼津市戸田1028番地の5
 TEL (0558) 94-2224 FAX (0558) 94-4029
 編集 沼津市商工会広報委員会



まちの玄関デザイン



戸田は山々に囲まれ、穏やかな内海にいたがれた、まるで神のてのひらにそっとのせられているような、小さくて優しいほっとするまちです。

戸田の理想を描く地域デザイン発表会
 早稲田大学芸術学院 武下公美さん 卒業制作
 (配布資料「神のてのひら」より抜粋)

歴史と文化で地域振興を



沼津市戸田文化協会
 会長 山口展徳

私の仕事は建築業(大工)の四代目です。大工修行後、約二年間、奈良薬師寺の西塔再建工事に参加しました。その後父が亡くなり、戸田で稼業を継ぎ、三十年が経過しました。建築に対する考え方は、地産地消で新建材は一切使用しません。通気工法を用い、ムクの家で冷暖房のいらぬ家づくりを目指しています。

二十五年前から趣味で戸田の歴史を調べ、造船博物館や松城邸で戸田の歴史ボランティアガイドを行っています。旧戸田村は、百六十六年前、開国を求め下田へやって来たロシアの軍艦「ディアナ号」が安政の大地震による津波で破損しました。下田では当時クリミア戦争のため修理ができず、戸田港が最適地であると判断しました。しかし、戸田へ向かう途中、嵐により富士市沖に沈んでしまいました。約五百人のロシア人は戸田まで歩き、わずか三カ月あまりで、代船「ヘダ号」を建造し、無事ロシアへ帰ることができました。このような歴史が戸田にはあります。

文化協会長になり、戸田の文化展を、蔵作りの杉山商店や国の重要文化財の松城邸をお借りして行いました。これにより、戸田の街並みを散策しながら、文化に親しんでいただくことができます。お茶会、へだふるさと研究会による松城邸の案内、押し花体験学習なども行います。また、今年特別展で「富士山」をテーマにした作品展も開催しました。歴史と文化で地域振興、観光振興に貢献できれば幸いです。

第2回

意外と知らない地域の産業。わが町の産業再発見!! 沼津市商工会50周年記念

ふるさと産業祭

11/3

10:00~15:00

会場

(水・祭日) 原地区センター広場

同時開催

新東名高速道歩きと史跡巡り・浮島沼自然探訪ウォーキング

原・浮島歴史と文化のまちづくり
原浮島実行委員会

- 10時 JAなんすん原産直市 新鮮野菜タップリ!! 売切終了
- 10時~12時 親子竹細工 体験教室
- 11時 投げもち
- 10時~15時 綿菓子(小学生まで無料) 落花生 山盛りスコップすくい

- ・沼津市商工会50周年記念植樹
- ・原浮島地域の物産展示と即売
- ・戸田の観光紹介、海産物直売
- ・工業製品の紹介
- ・耐震相談、免震住宅紹介・水道管内探查
スネークカメラ実演



工業部会出展・パネル展示 事業所紹介 (順不同)

図書印刷(株)、東洋ファイバー(株)、(株)富士シャフト、(有)鈴由商店、土井鋼材(株)、エヌ・イーケムキャット(株) 東芝ライテック(株)、大村興業(株)、殿岡服飾工業(株)、障害福祉「ウイサポートゆう」、(株)誠和、前田製作所、ベル印刷(株)、森工業(株)、(株)杉山鉄工、(有)イーリード、共立化工(株)、ユナイト(株)、(株)ひかり

出店・出展事業所 (順不同)

戸田観光協会、おくだ荘、山本農園、樹庵 ツツミ水産、お茶の興園、ピッコロ 内海ふとん店、(有)マルニ茶業、キノフーズ フランドル松屋、(有)西添建設、(株)モリケン コーア建設(株)、(株)進興、日建建設(株) なるほど! パソコン相談所、JA原産直市 耐震相談協力: 静岡県設計事務所協会 沼津法人会原支部 商工会青年部・女性部・観光サービス部会 工業部会・商業部会・建設業関連部会

主催: 沼津市商工会 電話 966-1331
後援: 沼津市、原・浮島連合自治会、
原・浮島コミュニティ推進委員会



ローンの御相談はさんしんへ
三島信用金庫 原町支店
〒410-0312 沼津市原195番地の6 TEL(055)966-1511

静岡銀行 原町支店
SHIZUOKA BANK
〒410-0312 沼津市原195番地の8
TEL(055)966-1010 FAX(055)966-8309

あんしん for you
みなさまの暮らしに、
安心と信頼をお届けします。
JAなんすん 原支店
〒410-0312 沼津市原349-3
TEL(055)966-0600 FAX(055)966-0722

沼津信用金庫 原支店
沼津市原町中3-13-23 TEL(055)967-6567
ホームページ・アドレス <http://www.numashin.co.jp/>

地域資源∞全国展開
プロジェクトの遂行状況

〈特産品開発プロジェクト〉

九月二十二日、大村保二部会長の下、地元の茶資源である、愛鷹茶（沼津茶）を活用した試作品の提案・絞り込み等を行いました。試食は、

①お茶の実の油、オリブ油、アボガド油、静岡やぶきた一番茶油等をフランスパンにつけて試食を行いました。地元のお茶の実が十月頃には出来始めます、来年一月か二月位までには地元のお茶の実を使った茶油の試作品が誕生する予定です。

②地元茶を使った三種類の天ぷら粉でちくわ、小エビ、かき揚げ、茶葉を揚げて試食し、アンケート調査を行いました。試食で出た主な意見は、さくさく感はある、色が濃すぎる、沼津らしさが出るような沼津てんぷらを作りたい、かき揚げが一番おいしい、茶塩ではなく戸田塩だけで食べても良かった、素材を再検討したい、等々が寄せられました。

との報告がありました。また、販路拡大対策の一つとして、富士山の麓で生産されるお茶として海外のイベントに出展ができるよう、検討していくことになりました。

〈B級グルメプロジェクト〉

B級グルメ部会では、これまでの「へだ港はんぺん」をリニューアルすることになりました。今までと異なる点はすり身を深海魚一〇〇%としたことです。したがって名称も「へだトコはんぺん」に変更しました。名称変更の理由は、深海魚一〇〇%を強調するため、トロール（底引網漁業）のトコを入れました。現在、標準的なへだトコはんぺんを作成し、十一月七日の戸田さんさんまつりにデビューさせる予定です。

標準へだトコはんぺんは、イベントやマスコミに対して提示するものであり、各飲食店、商店、民宿ではオリジナルへだトコはんぺんを提供します。今後はへだトコはんぺんマップやノボリの作成。民宿、飲食店、住民に対し、へだトコはんぺん料理講習会の開催。

〈民宿活性化プロジェクト〉

三十年前の五分の一となった民宿の活性化を図るため、商工会と民宿組合とJT Bが連携し動き出し始めました。まず民宿のおかみさんに集まってもらい講習会や懇談会を開催します。戸田地区ならではの体験型観光の創出により、教育旅行（中学校修学旅行）の受入先として民宿を検討中です。タカアシガニと磯料理にたよる観光では先細りです。体験型観光のメニューの創出とプログラム作成が急務です。

修学旅行は、今まで定番であった東京、京都から、農村漁村での交流体験を行う時代に変化しています。現在はなんと町工場（従業員五人）の視察まで修学旅行に組み込まれています。戸田の民宿も社会の変化に対応し変化していかなければ、生き残ることはむずかしい時代です。

戸田地域デザイン発表会



発表する 武下公美さん

早稲田大学芸術学校でデザインや建築を学んだ武下公美さんが、戸田のすばらしさに魅了され卒業制作の課題として、戸田の将来の姿を描きました。戸田独自の価値や課題をふまえ、景観や観光に夢を盛り込んだ地域づくりを提案しました。また助言者として早稲田大学 卯月教授にも講評、提言をいただきました。戸田は美しい浜辺と、山々に囲まれた、神様の掌にそっと乗せられたような村です。そして景観は、その地域の住民の心以上には、美しくはなれないと語りました。当日は、商工会、観光協会の関係者ほか地域住民、原地区からの参加者もあり計四十名が出席しました。

創業明治参年 味わいの宿
ときわや
高足ガニとエビカニづくしの磯料理
TEL 0558-94-3333
フリーダイヤルTEL 0120-04-1260
ホームページ http://tokiwaya.info

企業の繁栄と社会貢献
沼津法人会 戸田支部
支部長 中島寿之
事務局 沼津市商工会 戸田支所
0558-94-2224
食中毒予防の決め手はあなたの手
沼津食品衛生協会 戸田支部
支部長 真野雄二

西伊豆へだおんせん
海のほたる いさば
■夕日海岸物語■
〒410-3402
沼津市戸田美浜海岸3878-20
TEL 0558-94-3048(代)
URL http://www.isaba.co.jp

第二回理事会報告

「基盤強化月間を中心」

本年度第三回理事会が十月五日、本所と戸田支所を結ぶTV会議システムで開催されました。

始めに、前回の理事会以降に加入申込みのあった三事業所について審議が行われ、加入が承諾されました。

次に十月から来年一月までの四ヶ月間に渡って実施する「組織財政基盤強化推進月間」の内容が審議されました。これは、本商工会組織の維持

栗原市長と面談



栗原市長(右端)に事業の説明

・運営の強化を目的に、平成二〇年度から、本会が独自に行っているものです。本所支所間の緊密な連携、役員一体となった取組みによって、会員・非会員問わず訪問・巡回し、新規加入促進や経営支援、共済制度の普及などを項目ごとに数値目標を立てその達成を図ることとなりました。

具体的には、訪問・巡回の目標は会員数の六〇％に当たる五〇〇企業、新規加入目標は各支部・各部会がそれぞれ一企業の加入を目指し、本会全体の組織率を二％引き上げ

十月十五日、栗原裕康沼津市長を松永会長他役員十一名で訪問し、本商工会の取組みの現状や懸案事項を、直接、市長にお話ししました。これは、本商工会に対する理解を深め、支援をお願いするために行われたものですが、市長には熱心に耳を傾けて頂き、また、いろいろご意見を伺うこともできました。

面談は、道の駅の推進、戸田の観光活性化対策、東海大学沼津校舎撤退後の対策など

る。また、共済制度の加入促進では、会員福祉共済制度については全体加入率を二〇％に、商工貯蓄共済制度については満期加入者の全再加入数を目指すことなども決定しました。併せて、目標達成を強力に推進するため、新規加入者はもちろん、紹介者や実績を上げた支部・部会等には、優遇措置や特別報奨措置も用意することとなりました。

次に、本年度全国商工会連合会から大型補助を得て取り組んでいる、原地区の茶資源を使った特産品開発の現状や戸田のB級グルメのリニューアルの状況、民宿活性化のための新たなサービス創出の検討状況が事務局から報告されました。

続いて、五〇周年記念事業に移り、記念誌の編纂内容や、記念の冠をつけて実施する、

について要請を行うとともに、特産品開発やB級グルメ、五十周年記念事業、ふるさと産業祭などの現在取組んでいる主要事業についても報告を行いました。

原地区の「ふるさと産業祭」、沼津市民を限定対象とした「観光優遇キャンペーン」、歳末の「買い得商品券」発行、新春に開催する「特別記念講演会」などについて審議が行われました。

この他、各部会・委員会の取組みや市への要請活動についても審議が行われました。

貯蓄共済、福祉共済

加入増強月間

十月十五日の合同役員会にて、「組織財政基盤強化推進月間」の活動の一環として、貯蓄共済、福祉共済の加入推進を各支部、各部会にて具体的に達成可能な目標値を設定し、それをクリアすることを確認しました。

新会員ご紹介

事業所名ー支所・支部名

代表者名ー業種

本間社労士事務所ー原・愛鷹

本間康典ー社会保険労務士

信濃路ー原・東部

有瀧智康ー飲食

たこでんー原・東部

吉田和雄ー飲食

11月の行事予定

- 11月 10日 坂本塾・優良事業所視察 原支所
11月 3日 ふるさと産業祭
14日 コミュニティ文化祭「原宿パザール」
15日 観光サービス部会視察研修会
19日 商業部地デジ講習会
26日 定年延長講習会
戸田支所
11月 7日 戸田さんさんまつり
15日 女性部空き缶拾い

Logo with text: 地域を育み、大陸をつなぐ 沼津西ロータリークラブ テーマ クラブ奉仕を通じて地域への貢献を

Logo with text: 沼津法人会 原支部 めざます企業の繁栄と社会への貢献

●沼津市商工会では正規事務局職員(35才以下、大学卒業程度、1名)を募集しています。詳細は商工会へお問い合わせ下さい。